

# 2月 校長室だより

平成30年2月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

## 大阪市中学校駅伝大会



1月13日(土)長居公園内の周回道路で大阪市内の中学校生徒による駅伝大会が行われました。本校も陸上部が男子の部に参加しました。第1区間が4.2キロ、第2区間から第7区間までが2.813キロを走ります。当日はじっとしてられないほど寒さも厳しく、そして風も強かったですが、さすが中学生、元気に力強く、目の前を通り過ぎていきました。

本校の生徒たちは日頃から淀川の土手を走り、鍛えているので、少々風はなんとということもないと頼もしく語っていました。第1区間では11位と大健闘しましたが、1・2年生の大会で、7人全員が2年生でメンバーを組める他校に比べると、どうしても実力差が出てしまい。最終的には1時間20分4秒で33位でした。66チームが参加しましたので、ちょうど真ん中の成績でした。

1月の第2土曜に行われるこの駅伝大会は、私にとっては1年の最初におこなれる風物詩となっています。ほぼ毎年、選手たちの応援に行くのが毎年のこととなっています。来年の活躍も期待しています。陸上部の生徒の皆さん、今回の成果を糧にまた来年の大会を目指して、練習に励んでください。

## 聴覚支援学校出前授業

2年生を対象に、大阪府立中央聴覚支援学校から講師をお招きし、出前授業を行っていただきました。聴覚に障がいのある方々の日常を体験することによって、コミュニケーションすることの難しさと少しの配慮さえあれば、スムーズにコミュニケーションできることを学びました。音が聞こえづらい人に対してはゆっくりと、口を大きく開けて、近くで話すこと。意見を求めたりするときは、時には紙に書いて行うことも大切である。

コミュニケーションとは私たちの知覚、感情、意志、意見などを相手に伝えることにより、社会生活を成立させることです。そのためには自分のことを伝えるだけでなく、同時に相手のことを理解することが大切である。それによって会話が生まれ、心のキャッチボールが始まります。

今回、聴覚に障がいのある方々についての学びを通して、コミュニケーションとはお互いを理解しようと心掛けることから始まると気づきました。それによって人を思いやる心が生まれるのだということを感じました。



## 歯と口の健康教室



1年生では学校歯科医の吉村先生をお招きし、歯と口の健康教室を行いました。唾液を顕微鏡で見ると、細菌がうようよしていました。そんな細菌が歯や歯茎を蝕み、やがて虫歯や歯周病を引き起こす。そのためには細菌のすみかとなる歯垢を取り除くことが、大切であること、正しい歯の磨き方、歯間ブラシやフロスなども併せて使うことが効果的であることを教えていただきました。

後半では整美委員の生徒たちが食べ物について調べたことを発表してくれました。酸性に偏ることによって歯が溶け、健康が損なわれる。唾液は酸性を中和し、健康を保ってくれているが、炭酸飲料、かんきつ類や砂糖を含んでいる食べ物や飲み物に歯を溶かす成分が多く、熱中症対策としてよく飲まれるスポーツドリンクなどにも多く含まれて

いるということです。どんなものでもほどほどが大切、とりすぎは要注意です。

## 〈目前に迫る入試〉

2月10日(土)の私立高校の入試を始めとして、公立特別選抜、さらに3月には公立一般選抜の入試が行われます。また特別支援学校、専門学校や専修学校の入試も行われます。いよいよ3年生にとっては旅立ちの日が目の前に近づいてきました。

## 2月の主な行事

1月31日(水)～2月2日(金) 3年学年末テスト                      2日(金) 1・2年鑑賞行事  
9日(金) 1年百人一首大会                      10日(土) 土曜授業、私学入試  
15日(木)～16日(金) 2年職場体験学習                      20日(火)～21日(水) 公立特別選抜入試  
26日(月)～28日(水) 1・2年学年末テスト